

民泊成功に向けた第一歩

えがお
◎愛顔つなぐえひめ国体鬼北町民泊協力会委嘱式

決意表明を述べる民泊協力会会長



4月3日、近永公民館2階講堂で、「愛顔つなぐえひめ国体鬼北町民泊協力会委嘱式」が行われました。

式では、24地区ある民泊協力会の委嘱状の交付や、民泊協力会会長による決意表明を実施。さらに6月17日〜19日に開催されるリハーサル大会で、どの協力会がどのチームを応援するか決める抽選会も行われ、盛り上がりを見せていました。

また「民泊の母」と呼ばれる元兵庫県小野市国体担当者の塔本素万さんの講演では、民泊成功に向け、出席者たちは真剣に耳を傾けていました。

笑顔で踊る「えがおダンス&体操」

◎えがおダンス&えがお体操研修会

元気いっぱいに踊る子どもたち



3月21日、広見体育センターで「えがおダンス&えがお体操」に挑戦しよう！をテーマに、「えがおダンス&えがお体操研修会」が行われました。

2017年に開催される、えひめ国体のテーマソング「えがおは君のためにある」に合わせてつくられた「えがおダンス」と「えがお体操」。当日は、大人から子どもまで約90人が参加し、講師の指導のもと、時に振り付けに悪戦苦闘しながらも、終始笑顔を浮かべ、体を動かしました。

また、会場にはえひめ国体マスコットの「みきゃん」が登場。参加者たちと一緒に体操やダンスを楽しみました。

期待と不安を胸に、ドキドキの初登校

◎町内小中学校入学式

歓迎の言葉を真剣に聴く新入生



4月8・9日、町内小中学校の入学式が行われました。

今年度は、小学校74人（好藤小7人、愛治小6人、三島小4人、泉小7人、近永小43人、日吉小7人）、中学校70人（広見中63人、日吉中7人）が入学。大人への階段を上り始めた新入生たちは、慣れない制服を身にまとい、保護者や在校生たちの拍手に迎えられながら、誇らしげな表情で会場へと入場してきました。

先生に名前を呼ばれると、大きな声で返事をする新入生たち。これからスタートする新生活への意気込みを感じました。

春の訪れを告げる太鼓の音

◎大本神社清明祭

華麗な舞いに参拝者も釘付け



4月5日、好藤地区の大本神社（内深田）で、清明祭が行われました。

二十四節気の中の清明の日に合わせて、毎年執り行われている清明祭。この日を待ち望んでいた大勢の地元の方が参拝に訪れていました。

また、国指定重要無形民俗文化財に指定されている伊予神楽が奉納され、今年は「うずめ舞」など3演目を奉納。訪れた方々は力強く、優雅な舞いに、心を奪われていました。神事後は、敷地内で餅まきも行われ、参拝に訪れた方々の賑やかな声が、晴天の空に響き渡っていました。